

「ビルメンITの現状」

人手不足等の懸念としてITやITが活用されています。本コラムでは専ら「IT導入失敗の理由」を挙げる事で、普通のIT利用の成功に貢献できればと考えております。

連載 ⑥

株式会社 安井ファシリテーターズ

ビジネス創造部 部長 伊藤 士

情報処理技術者 ITストラテジスト



たった1つのキーワードで大きな差が出る

インターネットでの情報収集テクニック

自分が知らない製品や技術に興味を持った時、情報収集の手段としてインターネットはとても

集できます。しかしこの情報、ビジネスが絡むと少し状況が変わってきます。

ターネットはともな便利。パソコンやスマホですぐに情報収

ルしたいので、当然

メリットを中心にプロモーションされています。逆にデメリットを積極的に発信する事は当然少ないです。利用者側の発表も同様です。

あるシステムを導入した企業が果たして、それが失敗しているかどうか？「弊社では導入に失敗しました。その理由は○○です」と積極的に情報発信したりプレゼンするでしょうか？

社外に限らず、社内でも「失敗しました」と発表しづらい

IT導入したが業務定着していない現場に数多く遭遇してきた経験から、建築業界(特に維持保全)向け情報管理改善サービス「パノラマmemo」の事業を立ち上げる。ビルメンテナンス業界からの相談は100件を超える。

ケースが多々あります。

つまり、ネット検索で積極的に表に出ている情報の多くは「上手く行った場合の話」です。中には失敗していても、成功したように発信するケースも多いです。その業界に詳しい人から見ると、意外と見分けが付くも

のです。

では、業界に詳しくない人の場合はどうでしょうか？今回はネットを使った簡単な調べ方「ネガティブ検索」をご紹介します。

まずは身近な情報として、健康について調べてみましょう。骨を強くするならカルシウム、お酒を飲むならウコン、とよく聞きます。

そこでネガティブ検索で「カルシウム 十過剰摂取」で調べると、逆に骨粗しょう症の原因にもなる事が分かります。「ウコン 十過剰摂取」で調べると、肝硬変に注意と言われます。(あくまでネット上の情報ですが)メ

リットに関する情報は通常の検索で情報が集まるので、このようにあえてデメリットのリサーチをします。

単純に「デメリット」というキーワードを使って調べるのも良いですが、より具体的なワードを使うと実のある知識が得やすいです。

ITの場合は「失敗」「負担」「手間」「不整合」「ランニングコスト」というワードの組み合わせが便利です。また本格的なIT導入検討の際は、こうして集めた情報をITベンダーに投げかけ、「導入時に覚悟しておく事」「注意する事」「導入しない理由」など

を確認してみてもいい。

各社さん意外と丁寧に教えてくれると感じます。逆に上手く説明できなかったり、会話がチグハグになってしまいう場合もあります。

専門外の情報を全て理解するのは困難ですが、少なくとも検索で得られる情報は増えると思えます。

更に一歩踏み込むうとするのであれば、IT導入前に経験豊富な社内IT担当者や信頼できる外部パートナーを探るのが道です。こういった手法で少しでもIT活用が身近になれば幸いです。